

I 事業報告（総括）

令和5年度を振り返ると、令和6年1月1日夕方、マグニチュード7.6の能登半島地震が発生しました。現在も懸命な復旧作業が続けられています。改めて犠牲になられた方々、被災された方々に心より御見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を祈念いたします。

本県では、7月豪雨により山都町に架かる金内橋が崩落しましたが、県全体としては家屋等に大きな被害はありませんでした。

ただ、九州では毎年のように甚大な自然災害が発生しています。当協会では、6月に災害対策委員会で仮置場マニュアルを作成するほか、大規模災害時に市町村との協定に基づく災害廃棄物処理の支援活動を迅速かつ円滑に行うため、国において標準的な処理単価や補助対象基準を示すよう、12月に九州各県協会一体となって親会である全産連に要望を行いました。引き続き積極的に対応して参ります。

業界の課題である労働災害の防止に関しては、4月に労働災害防止計画（令和5年度～7年度）を策定し、本部・各支部において研修会等に取り組みました。特に、令和6年2月からトラック荷役作業時のテールゲートリフター操作に係る特別教育が義務化されたのを受け、本部の研修事業として開催した特別教育には、会員の多くの社員が受講され、関心の高さを感じました。

また、地域の環境保全と循環型社会の構築に向けて、産業廃棄物の適正処理はもとより、各支部においては、多くの会員が不法投棄防止パトロールや撤去作業に精力的に参加されました。青年部会では、13小学校に環境出前講座を行い児童約780名にゴミの現状や3Rの大切さを伝えていただきました。

いずれも協会の主要な社会貢献事業であります。引き続きご協力をお願いします。

その他、年3回発行の会報誌「スマイル」やメール等を通じて、様々な行政情報を会員の皆様にお伝えして参りました。

本協会が実施するこうした事業は、会員の方々の御理解と御協力の上に成り立っています。また、多くの関係者の方々に信頼され、期待されています。

以上を踏まえ、令和5年度の事業実績を報告します。

Ⅱ 令和5年度事業実績報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

1 会員現況（令和6年3月31日現在）

正会員 392名
賛助会員 40名
総会員数 432名

2 実施事業等会計

1 社会貢献事業

(1) 熊本県廃棄物不法投棄対策連絡会議

連絡会議（8月31日）：熊本県庁

出席者：県警生活環境課、組織犯罪対策課、県循環社会推進課、熊本・三池海上保安部、熊本市事業ごみ対策課、環境省九州地方環境事務所、熊本県産業資源循環協会

(2) ホームページによる情報提供

協会へ通知があった関係法令改正等の情報について、ホームページにより情報提供した。また、今年度も協会への問合せが多かった処理困難物（バッテリー、水銀等）の廃棄物処理の受入れについて、会員（中間処理業者）へ調査し、その結果をホームページ上に公開した。

(3) 青年部会、女性部会 青年部協議会九州ブロック九州一斉清掃（6月3日）

九州8県の青年部会で地域貢献として、それぞれの地域で一斉清掃を実施した。

また、本県は女性部会にも参加を募り合同で清掃を行った。

参加者：青年部会24名、女性部会11名、その他4名 於：水前寺成趣園（熊本市）

(4) 支部主催の献血活動

支部の社会貢献事業として、以下の支部で献血活動を実施した。

城北支部 参加者31名（9月27日）

宇城支部 参加者83名（8月8日）

天草支部 参加者40名（4月13日）

2 災害廃棄物支援事業

(1) 災害廃棄物対策検討委員会の開催

ア 目的

令和2年豪雨災害までの災害を通して出た課題を抽出、対策を検討し、次の災害に備えた。

イ 成果

①災害廃棄物仮置場マニュアルの作成

②出水期に向けた市町村への注意喚起

ウ 委員会開催

	開催	期日				
災害対策検討委員会	1回	6／2				

(2) 災害廃棄物マニュアルの作成

ア 災害廃棄物仮置場マニュアルの作成

支部管轄市町村と災害対策について、情報交換・打合せを行い、平常時からの災害対策について連携を強化するため災害廃棄物仮置場マニュアルを作成した。

イ 災害廃棄物処理支援行動マニュアルの作成

市町村からの災害廃棄物処理支援要請に基づく協会員企業の支援体制を把握するため調査を実施し、各支部の災害廃棄物処理支援行動マニュアルを作成した。

(3) 熊本県との連携

本協会が令和5年1月13日付災害対策基本法第2条第6号の規定による指定地方公共機関に指定され、熊本県が実施する熊本県防災会議（5月23日）へオブザーバー出席した。

令和6年3月には正式な構成メンバーへの就任要請を受け、承諾した。

(4) 市町村との連携

ア 市町村の会議への出席

各支部において、市町村が行う防災会議等に参加し、災害廃棄物処理についての情報交換を行うとともに、市町村が策定する災害廃棄物処理計画に対する意見を述べた。

また、各市町村に担当支部の災害廃棄物処理支援行動マニュアルを送付し、連携などに努めた。

イ 支部管轄市町村の災害廃棄物仮置場設置状況等の確認

令和2年豪雨災害までの実態を踏まえ、市町村が設置している仮置場について、災害対策検討委員会で課題を抽出した。この課題に対して支部は、管轄市町村が設置している仮置場を現地確認し、災害時に支障を来さないよう設置に関して助言した。

3 熊本環境保全推進支援金事業

(1) 会議の開催

支援金運営委員会 2回（5月16日、2月20日）

(2) 不法投棄対策事業

ア 本部事業

○不法投棄防止対策のための合同調査（1月22日～ 2月2日）

関係機関による陸及び海での調査

参加者：海上保安部、熊本県内各市町村、熊本県（循環社会推進課および各保健所）

熊本県産業資源循環協会

本協会は車による陸上パトロールを実施（1月30日）

イ 支部事業

①各地域不法投棄連絡会議への出席

②各支部不法投棄パトロール、撤去事業等の実施（写真添付：P 2 1）

	支部	期日	事業内容	実施場所
1	荒玉	1 0 月 2 3 日	玉名荒尾地域廃棄物不法投棄対策連絡会議	有明保健所
		1 1 月 3 0 日	不法投棄撤去作業	荒尾市平山付近
2	城北	6 月 2 3 日	不法投棄合同撤去作業	阿蘇市黒川地区
		1 2 月 1 9 日	菊池地域不法投棄連絡協議会	菊池保健所
		1 月 2 5 日	鹿本地域不法投棄対策連絡会議	鹿本地域振興局
		1 月 2 6 日	阿蘇地域不法投棄対策連絡会議	阿蘇地域振興局
3	熊本市	3 月 1 3 日	不法投棄合同撤去作業	岩戸の里公園周辺
4	宇城	1 1 月 2 2 日	宇城・上益城地域廃棄物不法投棄対策連絡会議	上益城地域振興局
5	南部	6 月 9 日	不法投棄合同パトロール	水俣保健所
		8 月 2 6 日	「くまもと・みんなの川と海づくりデー」 海岸ボランティア清掃	鶴ヶ浜海水浴場
		9 月 1 9 日	八代地方不法投棄防止監視パトロール等の 打合せ	八代保健所
		1 1 月 1 3 日	八代地域不法投棄防止等合同監視パトロール	県営八代運動公園 等、八代地域振興局
		1 1 月 1 4 日	人吉・球磨地区廃棄物不法投棄対策連絡会議 /合同パトロール	球磨地域振興局 寺 町別館
		1 1 月 1 5 日	水俣芦北地区不法投棄対策地方連絡会	水俣保健所
		1 月 2 9 日	津奈木管内パトロール	津奈木町管内
6	天草	1 1 月 9 日	天草地域不法投棄対策連絡会議	天草広域本部

(3) 環境教育事業（写真添付：P 2 2）

青年部会が実施する小学校第4学年を対象とした「環境出前講座」は、今までの大量消費・大量廃棄型のライフスタイルの見直しや、不法投棄撲滅のためには小学校在校時から3R事業及び廃棄物処理に関する『環境教育』を行うことが重要と考え、平成25年度から開始した。

平成28年度から熊本県義務教育課の熊本県環境学習プログラムとして、熊本県内の小学校社会科学習に導入されており、子ども達自らが考え、環境保全に繋がるためにはどのように行動しなければならないのかを引き出す内容で授業を行った。

	支部	期日	実施場所	対象数	
1	城北	6 月 1 4 日	大津町立美咲小学校	9 6 名	3 クラス
2	天草	6 月 1 9 日	上天草市立今津小学校	3 5 名	1 クラス
3	城北	6 月 2 2 日	合志市立南ヶ丘小学校	1 1 1 名	3 クラス
4	荒玉	6 月 2 9 日	玉名市立玉名町小学校	1 0 3 名	3 クラス
5	熊本市	7 月 4 日	熊本市立一新小学校	6 7 名	3 クラス
6	城北	7 月 1 3 日	大津町立大津南小学校	3 2 名	1 クラス

7	城北	7月14日	大津町立護川小学校	37名	2クラス
8	荒玉	9月13日	長洲町清里小学校	17名	1クラス
9	城北	10月3日	大津町立大津北小学校	8名	1クラス
10	城北	10月13日	菊池市立隈府小学校	81名	3クラス
11	熊本市	11月15日	熊本市立田迎南小学校	134名	4クラス
12	宇城	11月17日	美里町立中央小学校	27名	1クラス
13	熊本市	1月31日	熊本市立弓削小学校	35名	1クラス
令和5年度の環境出前講座における受講児童数				783名	27クラス

3 その他会計

1 組織活性化会員支援事業

(1) 会議の開催

ア 定時社員総会	6月2日：熊本ホテルキャッスル
イ 新年賀詞交歓会	1月5日：ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
ウ 理事会	7回（基本2ヶ月に1回開催）
エ 三役会議（執行部会議）	11回（基本毎月開催）
オ 監査会	1回（4月18日）
カ 各専門会議（委員会、部会）	

委員会・部会	開催	期日					
表彰推薦・懲罰委員会	2回	委員会 11/24	委員会 3/22				
安全衛生促進委員会	1回	委員会 4/18					
収集運搬部会	6回	監査会 4/28	総会 5/26	正副 6/15	視察研修 9/14～16	合同研修会 12/7	正副 2/29
中間処理・リサイクル部会	3回	監査会 5/2	総会 5/16	部会 1/26			
最終処分部会	5回	監査会 5/2	総会 5/19	九地協 9/15	合同研修会 12/7	部会 12/22	
医療廃棄物部会	6回	監査会 4/20	総会 5/12	正副 5/12	部会 12/12	正副 12/12	正副 1/5
建設廃棄物部会	6回	監査会 5/2	総会 5/23	正副 7/18	部会 8/2	視察研修 11/2～3	部会 2/19
青年部会	14回	監査会 4/18	役員会 4/18	部会 5/13	総会 5/13	役員会 8/4	部会 8/4
		役員会 9/26	役員会 11/25	部会 11/25	役員会 2/16	講習会 2/21	研修会 3/4
		役員会 3/4	正副 3/19				
女性部会	3回	監査会 5/2	総会 5/24	役員会 2/21			

(2) 支部事業

各支部で幹事会、支部総会、研修等を通じて組織活性化などに努めた。

支部	期日	各種事業
荒玉	4月21日	第1回幹事会
	4月21日	第11回支部通常総会
	5月15日	第2回幹事会
	8月17日	第3回幹事会
	11月 8日	第4回幹事会
	11月17～19日	支部視察研修
	12月 5日	支部ゴルフコンペ
	12月 5日	支部忘年会
	1月29日	第5回幹事会
	3月26日	支部ゴルフコンペ
城北	4月19日	第1回幹事会
	4月19日	第11回支部通常総会
	7月27日	第2回幹事会
	10月26日	第3回幹事会
	12月21日	第4回幹事会
	2月1～3日	支部視察研修
	3月 2日	支部ゴルフコンペ
熊本市	4月17日	第1回幹事会
	4月25日	第11回支部通常総会
	6月20日	第2回幹事会
	8月25日	第3回幹事会
	9月 2日	支部ボウリング大会
	10月19日	第4回幹事会
	12月11日	第5回幹事会
	1月18日	第6回幹事会
	2月20日	第7回幹事会
	2月25～26日	支部視察研修
宇城	4月27日	第1回幹事会
	4月27日	第11回支部通常総会
	7月 6日	第2回幹事会
	10月12日	第3回幹事会
	11月30日	第4回幹事会
	11月30日	支部忘年会
	2月 8日	第5回幹事会
	2月22～24日	2支部合同視察研修
	3月26日	第6回幹事会
南部	4月28日	第1回幹事会
	4月28日	第11回支部通常総会
	6月19日	第2回幹事会

南部	8月4～5日	支部視察研修
	8月25日	第3回幹事会
	10月12日	第4回幹事会
	12月6日	第5回幹事会
	1月19日	第6回幹事会
	2月28日	第7回幹事会
天草	4月10日	第1回幹事会
	4月26日	第11回支部通常総会
	8月17日	第2回幹事会
	1月11日	第3回幹事会
	2月22～24日	2支部合同視察研修

(3) 廃棄物処理への対応

廃棄物処理法等の改正に伴い、会報誌「くまもとさんばい（スマイル）」やホームページ、メール、研修会等により周知を行った。

(4) 表彰等事業

ア 環境省

令和5年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰（11月10日）

表彰名	会員名	受賞者
環境大臣表彰	熊本新明産業㈱	萩原 幸夫

イ 熊本県

令和5年度熊本県環境整備功労者知事表彰（2月9日）

分野	会員名	受賞者
産業廃棄物処理関係	嶋本建設㈱リサイクルセンター	嶋本 稔
	㈱佐藤建設	佐藤 博文
	(有)木村建材	木村 大陸

ウ 令和5年度（公社）全国産業資源循環連合会会長表彰（6月5日）

	表彰名	会員名	受賞者
1	地方功労者表彰	津留建設㈱	津留 克也
2	優良従事者表彰	(有)田辺工業所	濱岡 由憲
		㈱佐藤建設	佐藤 博文
		(有)幸明開発	小山田寿幸
		(有)タケシタ	竹下 博徳
		㈱青木運輸	今井 一郎
		㈱東南企業	山本 容一

	表彰名	受賞者	所属支部
3	優良事業所表彰	(有)プログレ	宇城
4	地方優良事業所表彰	津留建設㈱	荒玉
		㈱健康舎	熊本市
		(有)英環境サービス	熊本市
		(有)出崎商会	宇城
		肥後環境㈱	南部
		㈱中村建設	天草

エ 令和5年度（一社）熊本県産業資源循環協会会長表彰（6月2日）

	表彰名	会員名	受賞者
1	地方功労者表彰	熊本新明産業(株)	萩原 幸夫
2	優良従事者表彰	アクアテクニカル(株)	田村 英信
		九州産発(株)	持永 義孝
		有価物回収協業組合石坂グループ	辻崎 英樹
		(株)熊本市リサイクル事業センター	米本 祐也
		(有)プログレ	岩田 敏明
		(株)津田	田村 勇喜
		(株)アセフト	本田 健二
	表彰名	受賞者	所属支部
3	優良事業所表彰	(株)青木運輸	南部
4	地方優良事業所表彰	(株)双葉運輸	荒玉
		(株)田村建装工業	城北
		(株)エコポート九州	熊本市
		(有)旭清掃社	熊本市
		河津造園(株)	宇城
		(株)八代美研	南部
		(株)成和開発	天草

(5) 会員向けサービス・支援の実施

ア 熊本県との「災害時における廃棄物の処理等の支援活動に関する協定」締結に伴う熊本県工事入札参加者資格審査に必要な書類の交付 交付実績： 54件

イ 熊本市との「災害時応急活動に関する協定」締結に伴う熊本市建設工事総合評価方式に必要な書類の交付 交付実績： 46件

ウ 協会員章（門札タイプ）の作製配付

(6) 組織の拡充

支部との連携による新規入会の勧誘

令和5年度実績：正会員10者、賛助2者加入

正会員内訳：収集運搬8者、中間処理2者

(7) 会員支援及び福利厚生事業

会員管理データベースの拡充を行うとともに、地元スポーツクラブチケット配布、支部事業等による福利厚生事業を行った。

ア 地元サッカーJ2リーグ「ロアッソ熊本」（会員配付）

2023シーズン公式戦観戦チケット

イ 地元バスケットB2リーグ「熊本ヴォルターズ」（会員配付）

2023-24シーズン公式戦観戦割引チケット

(8) 廃棄物の適正処理に係る講習会・研修会の開催

ア 全国産業資源循環連合会と共催で産業廃棄物処理実務者研修会を開催（10月27日）

産業廃棄物を取扱う方々の実務に必要な委託契約、マニフェスト、帳簿等の産業廃棄物に関する基礎知識を学び、初心者から経験者まで、多くの方々に知識の習得、再確認することを目的として開催。

なお、この研修は（一社）全国土木施工管理技士会の継続学習制度（CPDS）の登録研修としても実施した。

イ 優良産廃処理業者認定制度の普及促進

①「環境配慮の取組（エコアクション21）」の説明会（6/8）

②2023年度自治体イニシアティブ・プログラム（5回：7/5、7/25・7/26、8/18、9/4・9/6、12/6）

優良産廃処理業者認定制度は、廃棄物処理の透明性や排出事業者が優良な処理業者を選択しやすい環境の整備につながるもの。この認定基準の一つである環境配慮の取組（エコアクション21の認証取得）を支援することにより産業廃棄物の適正処理を更に推進するため、熊本県・熊本市と共同で実施した。

(9) 後継者・若手経営者等の養成

熊本県中小企業団体中央会青年部協議会開催の「若手経営者育成研修会」等の周知、取り纏めを行うなどにより若手経営者等の養成に努めた。

(10) 労働安全衛生に関する講習会、研修会の開催等

ア 本部

①6月2日（定時社員総会時）

- ・演題 労働災害防止対策について

講師 熊本労働局 健康安全課 安全専門官 吉田 健 氏

- ・協会 令和5年度～令和7年度の労働災害防止計画について

講師 熊本県産業資源循環協会 加久専務理事

②テールゲートリフター特別教育

テールゲートリフターの操作に係る特別教育が令和6年2月からの義務化に伴い協会の法令順守を促進するため特別教育を実施。134人（44社）が受講した。

- ・実施主体：コベルコ熊本教習センター

- ・4回（11/27、11/28、12/6、12/8） 講習時間：学科4時間 実技2時間

- ・協会から1社当たり5,000円交付（5,000円×44社＝220,000円）

③1月5日（新年賀詞交歓会時）

- ・演題 改正基準告示の改正内容等について

講師 熊本労働局 監督課 監察監督官 清水 公雄 氏

④安全衛生活動の調査

令和5年4月に令和5年～令和7年度の労働災害防止計画を策定し、令和9年の最終目標達成に向け3つの重点実施事項を含む11の活動目標を掲げて労働災害の防止に取り組ん

でいる。この取り組みの実態を把握するために会員へのアンケートを実施した。

イ 支部

支部	実施日
荒玉	9月13日
城北	4月19日
	10月26日
熊本市	4月25日
南部	4月28日
宇城	11月10日
南部	
天草	

① 研修項目

- ・労働安全衛生について
- ・2024年問題、働き方改革について
- ・インボイス制度について 他

② 講師 熊本労働局、労働基準監督署、協会

(11) 電子マニフェスト普及促進

電子マニフェスト制度に関する周知及び操作方法等に関する問合せ対応

(12) 許可申請講習会の実施

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会及び特別管理産業廃棄物管理責任者講習会を下記のとおり行った。

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会試験（新規）

項目	開催日	受講者数
産業廃棄物：収運課程	7月28日	91名
	11月30日	92名
	3月 7日	83名
特別管理産業廃棄物：収集運搬課程	3月 8日	69名
産業廃棄物：処分課程	7月27日	56名
	12月12～15日	45名
計		436名

イ 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会試験（更新）

項目	開催日	受講者数
産業廃棄物：収運課程	7月27日	98名
	11月29日	72名
	11月30日	25名
	3月 7日	97名
産業廃棄物：処分課程	11月29日	41名
計		333名

ウ 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会

項目	開催日	受講者数
特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	3月 8日	93名
計		93名

(13) 情報の収集及び提供

情報収集及び印刷物の発行事業

ア 情報収集事業

会員や一般県民からの廃棄物処理等に関する疑義、照会に対して、関係機関のホームページの閲覧をはじめ、必要に応じて行政に確認したうえで、情報を収集整理し、回答や資料提供を行った。

イ 印刷物の発行事業

- ① 会報誌「くまもとさんばい（スマイル）」 3回（7月、11月、3月）
- ② 会員名簿
- ③ 産業廃棄物処分施設MAP

ウ 協会員への情報提供

- ① 許可期限の通知
更新許可申請の手続きに遅れないよう葉書による通知。
- ② ホームページ、メール、FAX等による情報提供
(公社)全国産業資源循環連合会、国、県、市から提供される関係法令の改正や要請、業界の情報をタイムリーにかつ的確に提供した。
- ③ 産業廃棄物の処理に関する照会等への対応
産業廃棄物処理の実態や動向及び当協会の事業活動等に関する会員からの照会や相談に対して回答や資料提供等を行った。
- ④ 施設の整備に関する補助金等の情報提供
国や県の産業廃棄物処理施設の整備等に関する補助制度等の情報提供を行った。
- ⑤ 法令・融資・税務に関する照会等への対応
廃棄物処理法や関連法規に関する疑義、照会等に対し、必要に応じて行政に確認したうえで回答・助言を行った。

2 関係機関との連携事業

行政機関、他団体との連携事業

(1) 行政機関との連携

ア 協会主催事業

- ・熊本県へ産業廃棄物処理に関する要望書の提出（8月22日）
要望事項 ①産業廃棄物税に関する要望（九州地域協議会統一要望）
 - i 産業廃棄物税の5年ごとの見直しにおける税の目的及び効果並びに制度における課題の十分な検証
 - ii 特別徴収義務者へ交付される報償金交付率（現行2.5%）の引き上げ
 - iii 産業廃棄物税の周知徹底（特に排出事業者への周知徹底を強く要望）
 - iv 産業廃棄物税収の使途の決定に協会が関与できるような仕組みづくり
- ②産業廃棄物処理に関する要望（熊本県協会独自）
 - i 優良認定中間処理業者への産業廃棄物税の減額

ii 熊本県産業廃棄物排出量抑制支援事業補助金について

- ・制度周知の早期化
- ・申請受付の柔軟な対応

出席者 熊本県環境生活部長、環境局長、循環社会推進課長、税務課長
協会執行部

回答（1月29日）：熊本県循環社会推進課長及び税務課長

イ 産業廃棄物実務担当者研修会事業（熊本県業務委託）（9月25日、9月28日）
熊本県からの業務委託により廃掃法の法令遵守を中心とした内容と、産業廃棄物に携わる実務者向けの実践的な内容の両方を盛り込んだ研修を実施した。

対象者：排出事業者、産業廃棄物処理業者

講師：熊本県循環社会推進課、税務課、加久専務理事

ウ 行政機関主催事業

①（公財）熊本県環境整備事業団理事会 4回（6/2、8/28、3/6、3/27）

検討事項：公共関与による最終処分場の整備について

出席者：協会 野原会長（公益財団の理事として）

② 令和5年度熊本県産業廃棄物排出量抑制支援事業費補助金に係る検討会議及びリサイクル製品認証審査に係る協議（9月5日、2月9日）

検討事項：i 熊本県リサイクル認証製品審査

ii 熊本県産業廃棄物排出量抑制支援事業費補助金

出席者：協会 加久専務理事

（2）他団体との連携

ア 九州地域協議会（当協会が出席したもの）

	開催	期日				
全体会議 （会長会議含む）	2回	全体会議 福岡 10/20	会長会議 鹿児島 2/22			
事務局会議	2回	福岡 10/20	鹿児島 2/22			
災害廃棄物委員会	3回	熊本 7/4	福岡 9/14	鹿児島 2/1		
優良性評価制度 連絡協議委員会	2回	鹿児島 9/21	大分 1/25			
最終処分部会	2回	福岡 9/15	鹿児島 2/6			
中間処理部会	2回	宮崎 9/12	長崎 1/30			
収集・運搬部会	2回	沖縄 9/14	長崎 2/15			
医療部会	2回	福岡 10/4	鹿児島 1/25			

建設廃棄物部会	6回	九地整意 見交換 7/25	熊本 9/27	九地整意 見交換 9/27	九地整意 見交換 12/8	福岡 2/7
		九地整意 見交換 2/7				
青年部協議会 九州ブロック	7回	役員会 (長崎) 4/7	役員会 (佐賀) 5/20	総会 (佐賀) 5/20	役員会 (宮崎) 8/22	役員会 (沖縄) 10/26
		役員会 (大分) 12/15	役員会 (鹿児島) 2/21			

イ 全国産業資源循環連合会

- ① (公社) 全国産業資源循環連合会定時総会 (6月16日) 於：東京
 ② 全国産業資源循環連合会会議等 (当協会が出席したもの)

	開催	期日				
理事会	5回	5/23	7/11	10/11	1/12	3/12
事務局責任者 会議	2回	8/24	2/16			
最終処分部会 関係会議	5回	分科会 4/11	分科会 6/5	分科会 7/24	分科会 9/20	分科会 12/21
青年部協議会	12回	幹事会 (東京) 4/12	幹事会 (東京) 5/10	総会 (東京) 6/15	幹事会 (東京) 7/5	幹事会 (京都) 8/8
		幹事会 (東京) 9/6	全国大会 (沖縄) 10/27	幹事会 (東京) 11/9	幹事会 (三重) 12/11	幹事会 (東京) 1/11
		カンファレンス (鳥取) 2/8	幹事会 (東京) 3/11			
女性部会	2回	定例ミー ティング 5/30				

3 マニフェスト・ステッカー頒布等事業

(1) 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) の頒布

	産廃 マニフェスト	建設 マニフェスト	積替 マニフェスト	計	前年比
令和5年度	608,900枚	321,800枚	2,730枚	933,430枚	95.86%
令和4年度	602,670枚	366,800枚	4,300枚	973,770枚	

(2) 産業廃棄物収集・運搬ステッカーの作成

	収集運搬 ステッカー	前年比
令和5年度	87枚	189%
令和4年度	46枚	